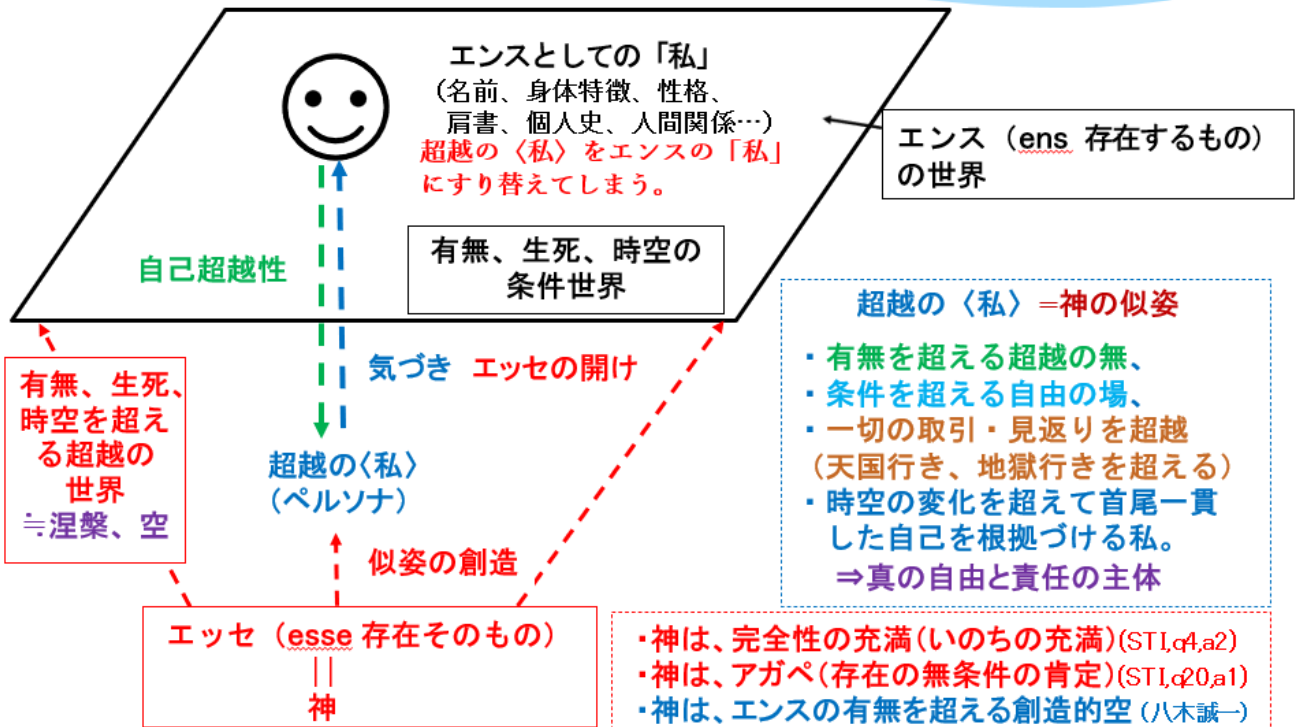


エンスの「私」とエッセに開かれた〈私〉



超越の〈私〉は科学探求の根拠

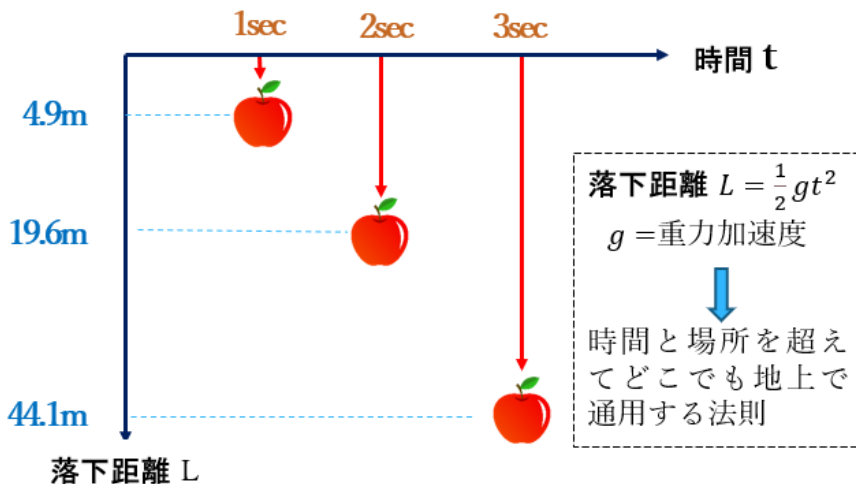
・人間の自己超越性を示す同一律

1) 客観的科学探求の根底をなす論理学の同一律と矛盾律

→ 同一律「 $A=A$ 」、その精緻化として矛盾律「 $A \neq \text{非}A$ 」

矛盾律「 $A \neq \text{非}A$ 」によりAをより正確に同定できる。

2) 例: 自由落下の法則: 観察 → 仮説 → 検証 → 法則

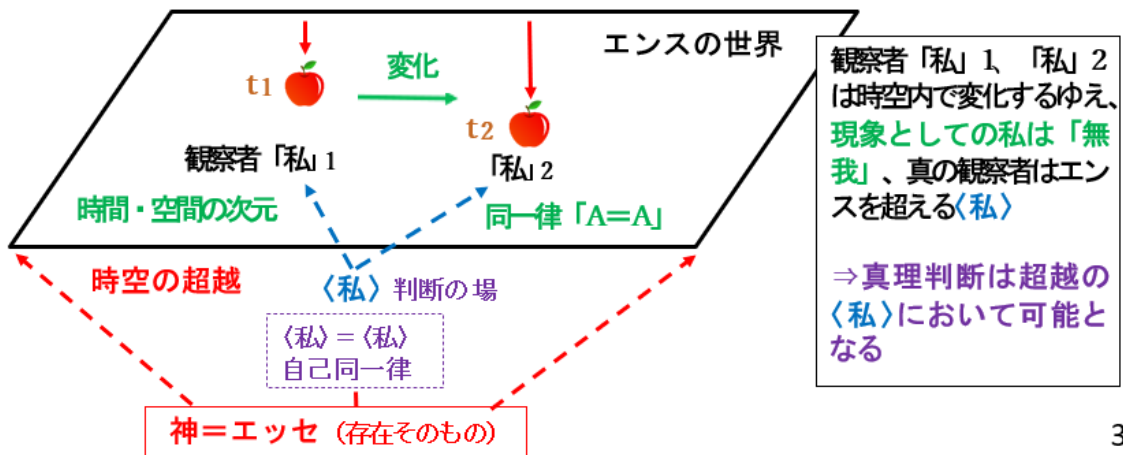


Aは位置と時間の変化で変わらないリンゴとして同定 (同一律)

↓
Aは空気抵抗を無視できないものを除くあらゆる物体 (矛盾律でAを精緻化)

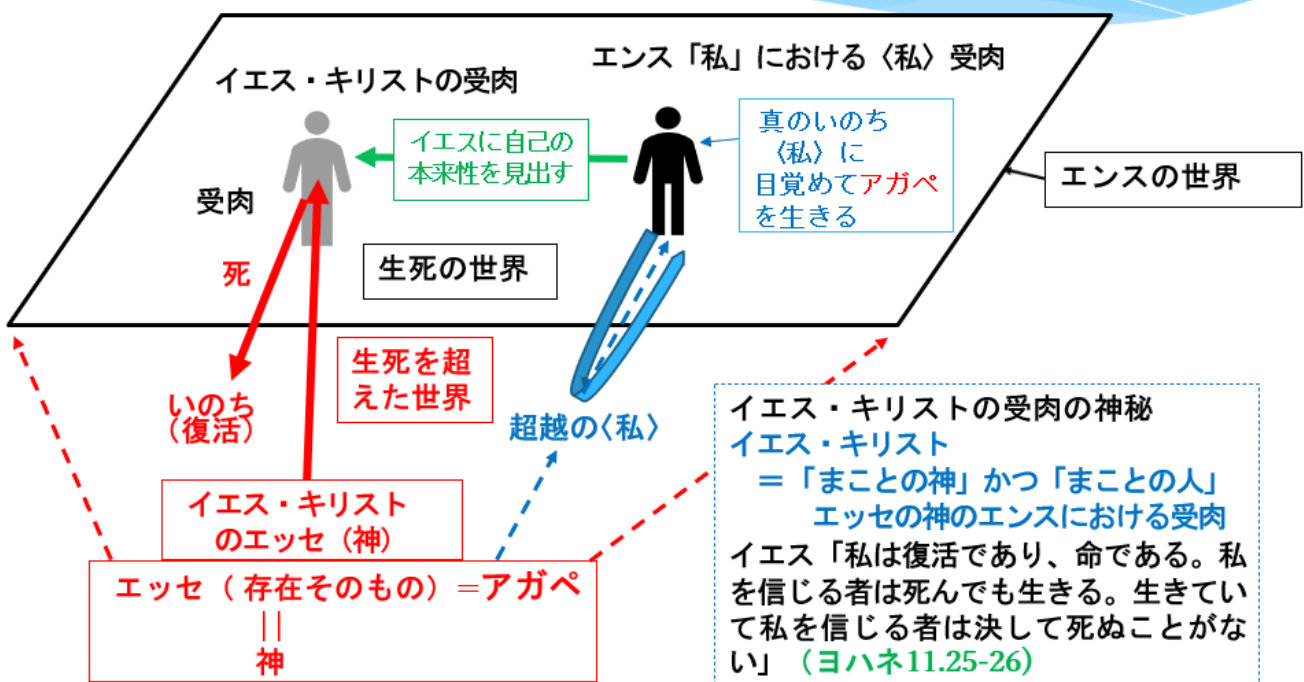
自己超越性を支える神

- 3) 同一律と矛盾律は変化する世界を超えて普遍的に通用する論理学の根本律
- 4) 論理学の根本律の可能根拠は超越の〈私〉
時空を超えて首尾一貫した〈私〉が真理判断の場となる。
⇒自己同一律「〈私〉は〈私〉である」
- 5) 超越の〈私〉と判断の場を根拠づけるのは神(信仰の神)



3

イエス・キリストの受肉とアガペを生きる〈私〉



4